

事業名	男女共同参画推進費		
細事業名	地域発男と女とのフォーラム事業費補助金	財務コード	525412
担当部課室	企画県民 部 県民生活・男女参画 課 男女共同参画 担当 (内線)	1614	

事業の概要

実施期間	始期 H14 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	補助(地域発男と女とのフォーラム実行委員会)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>県民</td> <td>固定的な性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現の必要性について認識が深まっている</td> <td>実践的な行動による男女共同参画の推進</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	県民	固定的な性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現の必要性について認識が深まっている	実践的な行動による男女共同参画の推進
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
県民	固定的な性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現の必要性について認識が深まっている	実践的な行動による男女共同参画の推進					
事業の内容 主にH26年度	<p>事業概要 地域に密着した男女共同参画の取り組みを積極的に推進するため、地域発男と女とのフォーラムに要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 補助先： 地域発男と女とのフォーラム実行委員会 補助率： 定額</p> <p>フォーラム H25年度 内容：DVD上映、講演、展示による活動紹介 H26年度 内容：合唱(オープニング)、講演、展示による活動紹介 H27年度 内容：基調講演、シンポジウム、展示による活動紹介</p>						
根拠法令等	地域発男と女とのフォーラム事業費補助金交付要綱						

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 参加人数	398人	320人	328人	297人(実績)	320人	目標設定の考え方 H21年度からH25年度のうち最多参加人数であったH21年度の参加人数400人の80% (講師の知名度等年度により異なる要素の影響を勘案し、80%としている。)
活動指標達成率(実績値/目標値)		102.5 %				データの出典等 事業実績報告書(参加人数)
成果指標 男女共同参画について理解が「大変深まった」又は「深まった」と回答した参加者の割合(無回答は除外)	87.4%	80.0%	80.0%	95.9%(実績)	80.0%	目標設定の考え方 男女共同参画について理解が「大変深まった」又は「深まった」と回答した参加者の割合80%を目標値とする。(無回答は除外) (講師や講演内容が理解度に与える影響、個人の受け取り方の違いを勘案し、80%としている。)
成果指標達成率(実績値/目標値)		100.0 %				データの出典等 参加者アンケート結果
決算額又は予算額(千円)うち一財額	454		471	500	500	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	8 時間		8 時間	8 時間	8 時間	
所要時間(間接分)	281 時間		281 時間	281 時間	281 時間	
所要時間計	289 時間		289 時間	289 時間	289 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	592		592	592	592	

これまでの事業の見直し・改善状況

H16年度に全体研修会・地区別研修会の名称を「地域発男と女とのフォーラム」に一本化。H17年度から地区別フォーラムを9地区から5地区に再編。H19年度から地区別を廃止し、全県版実施。(市町村合併により市町村の行政規模が拡大し、市がフォーラム等を自主的に実施するようになり、従来広域的な観点から実施していた地区別フォーラムの意義が薄れたため)H25年度から実行委員会の中に部会(企画・広報・展示・会場)を設置。

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率	活動量に係る一次評価	
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率	成果に係る一次評価	参加者アンケート結果では、フォーラムに参加して男女共同参画の理解が「大変深まった」又は「深まった」と回答した者の割合が80.0%あり、成果指標達成率は100.0%であることから、意図した成果を上げている。また、参加者の内訳についても、過去に参加経験がある者と初参加者との割合がほぼ同じであり、新たな参加者を呼び込むことにも成功しているといえる。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	フォーラム参加者の年齢構成について、一定の年齢層以上の者が占めるウエイトが高く、バランスを欠いている。このため、フォーラムのメインの内容となる講演等について、テーマや講師を多面的に検討し、より魅力的なものにすることにより、幅広い年齢層の男女にフォーラムに参加してもらう必要がある。	b

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	フォーラムのメインの内容となる講演等について、幅広い年齢層の男女にフォーラムに参加してもらうため、テーマや講師を多面的に検討し、より魅力的なものとする。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること